



# ほけんだより

2018年 3月 りすのき保育園 NO15

少しずつではありますが、温かくなってきて、春が近くまで来ているのを感じますね。一年が経ち、どのお子様も身体が大きくなって、心もたくましくなっているのを感じます。今年度も様々な面で保護者の皆様に支えていただいたこと、心より感謝いたします。

## 今月の予定

0歳児健診	5日(月)	くるみの部屋	大池先生に診察していただきます。
身体測定	14日(水)	全園児	

## 園内でのインフルエンザの様子

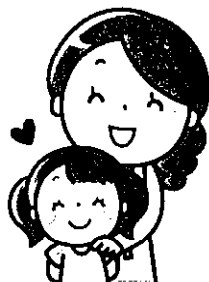
地域では、12月から2月にかけて、A型・B型のどちらも、かなりの発症があったようです。りすのき保育園でも、2月に、インフルエンザB型が8名、A型が1名、計9名発症しました。(乳児4名・幼児5名)

感染しても、子どもは元気に見えるように見えますが、快復にはかなり時間がかかります。どうぞ無理なくお過ごしください。

こりす展では、お忙し中 ご覧いただき、ありがとうございました。

「赤ちゃんから、大人まで毎日使える生活用品(石鹸)の選び方」

というテーマで今回は取り組みました。



洗濯洗剤・台所洗剤・スキンソープ・ハンドソープ・歯磨き粉など、毎日使用している物に、体に良く無いものが入っているとしたら、どんな影響があるのだろうか、など調べてみました。

そして、子ども達がこれからずっと使用しても、安心なものはどんなものがあるのか、ご紹介いたしました。

子どもは、食べるものも、生活用品も、自分で選ぶことができません。保育園やご家庭で気を付けて、選んであげられるとよいと思いました。

3月3日は、耳の日です。

保健指導では、耳の働きについてお話しをしました。

耳は、音を聞く事と、体のバランスをとる(立つ事・歩く事)働きをしていること、また、音が聞こえにくい時、耳が痛い時は大人に伝える事をお話しました。

### 耳に入った音が進む道は?

- 耳に入った音(空気の振動)は、長さ2~3cmの通路(外耳道)を通ってたどり着いた鼓膜を震わせます。
- 次に、鼓膜の向こうにつながっている、ツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨の3つが連なる耳小骨に震えが伝わります。ツチ骨とアブミ骨は、よく聞こえるように音の強さを調節しています。
- 音の振動はアブミ骨にくっついた蝸牛に伝わります。「蝸牛」は「カタツムリ」とも読みます。蝸牛の中にあるコルチ器で振動は電気信号に変換され、脳に伝えられて「聞こえた」と感じるのです。

## 子どもに多い耳の病気

### 急性中耳炎

#### どんな病気?

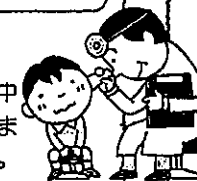
中耳に入り込んだ細菌やウイルスによって急性の炎症が起こり、膿がたまる病気です。カゼをひいたときに、鼻やのどの炎症に続いて起こることが多いです。

#### 症状は?

- ズキズキとする激しい耳の痛み
- 発熱
- 耳だれ
- 耳がつまった感じ など

#### 注意点は?

途中で治療をやめると、滲出性中耳炎などに移行することもある。最後まできちんと治療するのが大事です。



### 滲出性中耳炎

#### どんな病気?

鼓膜の奥の中耳腔という部屋に、液体が溜まる病気です。

#### 症状は?

聞こえにくくなることが多いです。ただし、軽度だと気づくのが遅れることも。

- テレビのボリュームを上げたがる
- 呼びかけても返事をしない

などが見られたら注意が必要です。強い痛みや発熱はあまり見られません。

#### 注意点は?

治療が不十分だったり、放置すると入院や手術が必要になることも。長期戦になるケースも多いですが、根気強く通院を続けてください。